

平成30年北海道胆振東部地震を振り返り 今後の減災・復興を考える シンポジウム&現地見学会 を開催しました



北海道大学 広域複合災害研究センター

令和元年10月27日(日) 厚真町と北海道大学広域複合災害研究センターの共催で「平成30年北海道胆振東部地震を振り返り 今後の減災・復興を考える シンポジウム&現地見学会」を開催しました。当日は厚真町を中心に約80名の方にご参加いただき、会場からの質疑応答もあり、活発な意見交換が行われました。現地見学会には28名参加いただき、普段は見れない斜面崩壊の現場を見学していただきました。

日 時：令和元年10月27日 10時～12時15分（シンポジウム） 13時10分～16時（現地見学会）

場 所：厚真町総合福祉センターおよび厚真町内の斜面崩壊発生箇所

主 催：厚真町，北海道大学広域複合災害研究センター

後 援：北海道大学ロバスト農林水産工学国際連携研究教育拠点，国土交通省北海道開発局，北海道

【プログラム】

午前 10時～12時15分

- ・ 開会挨拶 山田センター長
- ・ 基調講演 宮坂 尚一朗 厚真町長
平成30年北海道胆振東部地震からの教訓
- ・ 話題提供 北海道広域複合災害研究センター
谷岡 勇市郎 教授
胆振東部地震の特徴
山田 孝 教授
地震による急傾斜地の崩壊と土砂移動の特徴，対策
石川 達也 教授
北海道の火山灰質土の工学的性質と斜面災害
渡部 要一 教授
胆振東部地震で発生した液状化被害を振り返って
岡田 成幸 特任教授
地震動による人的被害と室内被害軽減のための自助マネジメント
- ・ 質疑応答 コーディネーター 定池祐季
(厚真町防災アドバイザー，東北大学助教)

午後 13時～16時

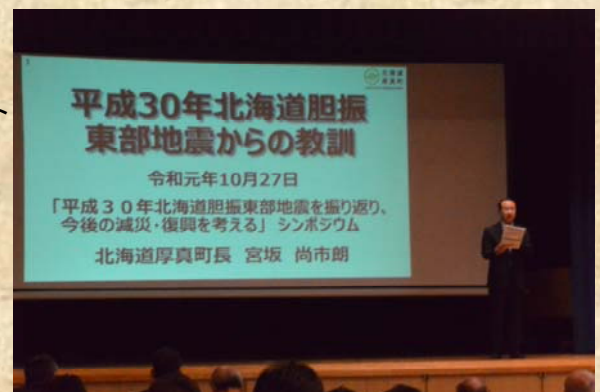
- ・ 日高幌内川 河道閉塞箇所
- ・ 東和地区 斜面崩壊発生箇所

【参加者からの質問】

- ・ 斜面崩壊（がけ崩れ）のハード対策にはどのようなものか？
- ・ 北海道で発生する地震は年代や震源の深さに違いはあるか？



会場の厚真町総合福祉センター



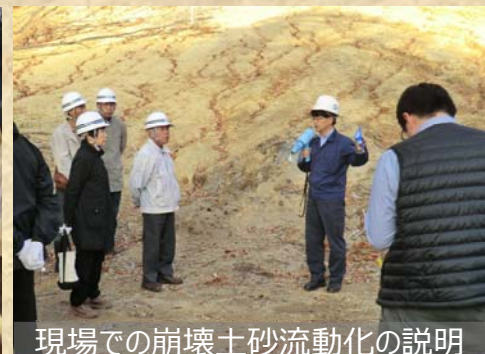
宮坂町長による基調講演



会場との質疑応答



現場での火山灰層序の説明



現場での崩壊土砂流動化の説明